



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年11月9日

上場会社名 株式会社インプレスホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 9479 URL http://www.impressholdings.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 唐島 夏生
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役/執行役員CFO (氏名) 山手 章弘 TEL 03-6837-5000
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	5,782	2.0	170	27.2	221	36.9	173	58.2
29年3月期第2四半期	5,667	7.8	133	0.3	162	20.6	109	426.7

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 266百万円 (211.4%) 29年3月期第2四半期 85百万円 (178.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	5.19	—
29年3月期第2四半期	3.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	12,011	7,146	59.3	213.56
29年3月期	11,287	6,895	61.0	206.24

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 7,124百万円 29年3月期 6,880百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	—	—	0.60	0.60
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期 (予想)	—	—	—	0.50 ~1.00	0.50 ~1.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,500	1.9	100	—	60	537.2	1.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 12「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の摘要」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期2Q	37,371,500株	29年3月期	37,371,500株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	4,010,246株	29年3月期	4,007,486株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期2Q	33,362,942株	29年3月期2Q	33,367,084株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	12
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社についても異動はありません。

当社は、有価証券の取引等の規制に関する内閣府令第49条第2項に規定する特定上場会社等に該当し、インサイダー取引規制の重要事実の軽微基準については連結ベースの数値に基づいて判断することになります。

事業セグメント区分	事業区分		事業内容	主要な会社
IT (IT分野に関するメディア及び関連サービス事業)	メディア事業	デジタル	デジタルメディアの企画制作、販売及び広告収入等	㈱インプレス ㈱IAD 英普麗斯(北京) 科技有限公司 Impress Group Singapore Pte. Ltd.
		出版	出版流通を主な販売チャネルとした雑誌、ムック、書籍等の企画制作、販売及び広告収入等	
		ターゲット	ユーザー属性の明確な顧客層を対象としたメディアの企画制作、販売及び広告収入等	
	サービス事業	販促物等の受託制作及びその周辺サービス		
音楽 (音楽分野に関するメディア及び関連サービス事業)	メディア事業	デジタル	デジタルメディアの企画制作、販売及び広告収入等	㈱リットーミュージック
		出版	出版流通を主な販売チャネルとした雑誌、ムック、書籍等の企画制作、販売及び広告収入等	
デザイン (デザイン分野に関するメディア及び関連サービス事業)	メディア事業	デジタル	デジタルメディアの企画制作、販売及び広告収入等	㈱エムディエヌコーポレーション
		出版	出版流通を主な販売チャネルとした雑誌、ムック、書籍等の企画制作、販売及び広告収入等	
山岳・自然 (山岳・自然分野に関するメディア及び関連サービス事業)	メディア事業	デジタル	デジタルメディアの企画制作、販売及び広告収入等	㈱山と溪谷社
		出版	出版流通を主な販売チャネルとした雑誌、ムック、書籍等の企画制作、販売及び広告収入等	
モバイルサービス (モバイル関連のサービス事業及びメディア事業)	メディア事業	デジタル	デジタルコンテンツの企画・制作	㈱ICE
	サービス事業		電子書店の構築・運営等プラットフォーム事業	
その他			出版事業、電子出版等の事業開発及びR&D等 Webコンテンツの企画・制作等	㈱近代科学社 ㈱インプレスR&D ㈱クリエイターズギルド Impress Business Development(同)
全社			グループ経営・財務戦略の策定 グループ各社の経営管理、販売／物流管理	㈱インプレスホールディングス(当社) ㈱Impress Professional Works

(当第2四半期連結累計期間の業績全般の概況)

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものです。

また、文中の事業セグメントの売上高は、セグメント間の内部振替高を含んでおり、セグメント損益は、営業損益をベースとしております。

当第2四半期連結累計期間につきましては、雑誌広告等の減少及び前年同期に拡大した読み放題サービスの反動による電子書籍等の販売減によりメディア事業は減収となりましたが、サービス事業において、デジタルコミック等の販売プラットフォーム事業が堅調に推移、アジア市場向けSP（セールスプロモーション）の受託案件の増加に加えて、第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めた株式会社クリエイターズギルドの受託売上が増加したことで、メディア事業の減収をカバーし、増収となりました。

これらの結果、売上高は、前年同期（5,667百万円）に比べ115百万円増加し、5,782百万円となりました。

営業利益におきましては、人材強化に伴う人件費の増加はあったものの増収と収益性の改善により、前年同期（133百万円）に比べ36百万円増加し、170百万円の営業利益となりました。経常利益は営業利益の増益に加え、持分法投資利益や貸倒引当金戻入益の計上等により前年同期（162百万円）に比べ59百万円増加し、221百万円の経常利益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期（109百万円）に比べ63百万円増加し、173百万円となりました。

(セグメント別の概況)

①IT

デジタルメディア事業につきましては、前年同期に拡大した読み放題サービスの反動による電子書籍等のコンテンツ販売の減少に加え、主力のデジタル総合ニュースサービス「Impress Watch」 (<http://www.watch.impress.co.jp/>) 等の広告収入が減少し、減収となりました。

出版メディア事業につきましては、既刊書籍の販売が好調に推移、大型季節商品の出荷は増加いたしました。新刊書籍の刊行の遅れやムックの新刊タイトルの減少等により、減収となりました。

ターゲットメディア事業につきましては、登録顧客向けのターゲット広告の収入が減少し、減収となりました。

これらの結果、メディア事業の売上高は、前年同期（2,035百万円）比6.9%減の1,895百万円となりました。

サービス事業は、アジア市場向けのSP受託事業の受注が回復したことに加え、ターゲットメディアと連携したビジネスセミナーの規模拡大等によりイベント収入が堅調に推移し、増収となりました。

これらの結果、サービス事業の売上高は、前年同期（440百万円）比20.6%増の531百万円となりました。

以上により、「IT」の売上高は、メディア事業の減収をサービス事業の増収で補えず、前年同期（2,476百万円）比2.0%減の2,426百万円となりました。セグメント利益は、アジア市場向けのSP受託事業の利益改善と貸倒引当金等の販管費の減少により前年同期（14百万円）と比べ43百万円利益が増加し、58百万円の利益となりました。

②音楽

音楽セグメントにつきましては、電子書籍等のコンテンツ販売は減少となったものの、楽器売買のプラットフォーム「楽器探そう！デジマート」 (<http://www.digimart.net/>) における楽器店からの登録料及び決済サービス収入の増加により、デジタルメディア事業の売上高が増加いたしました。また、雑誌広告の減少を書籍の新刊タイトルの増加や雑誌販売の増収で補い、出版メディア事業も増収となりました。

以上により、「音楽」の売上高は、前年同期（860百万円）比3.0%増の886百万円となりました。セグメント利益では、増収したものの人件費、宣伝・販促費や販売経費の増加等により、前年同期（11百万円の損失）と比べ31百万円損失が増加し、42百万円の損失となりました。

③デザイン

デザインセグメントにつきましては、電子書籍等のコンテンツ販売の減少をデジタル広告の増収で補えず、デジタルメディア事業は若干の減収となりましたが、出版メディア事業において「すごいストレッチ」が10万部を超えるヒットとなったことに加え、季節商品の出荷も増加し、増収となりました。

以上により、「デザイン」の売上高は、前年同期（402百万円）比27.0%増の510百万円となりました。セグメント利益では、増収と収益性の改善により販売管理費の増加を補い、前年同期（29百万円）と比べ43百万円利益が増加し、73百万円の利益となりました。

④山岳・自然

山岳・自然セグメントにつきましては、電子書籍等のデジタルコンテンツ販売の減少を、登山情報サイト「ヤマケイオンライン」（<http://www.yamakei-online.com/>）の広告収入の増加で補い、デジタルメディア事業の売上高は前年同期並みの水準となりましたが、出版メディア事業における広告の減少、新刊タイトルの減少等による書籍販売の減少に加えて、大型季節商品であるカレンダーの出荷の遅れが影響し、減収となりました。

以上により、「山岳・自然」の売上高は、前年同期（1,086百万円）比5.7%減の1,023百万円となりました。セグメント利益では、減収を収益性の改善により補い、前年同期（119百万円）と比べ5百万円利益が増加し、124百万円の利益となりました。

⑤モバイルサービス

モバイルサービスセグメントにつきましては、コンテンツホルダーとの協業によるデジタルコミック等の販売プラットフォーム事業が好調に推移したことに加え、英語教材の販売やデジタルファーストの電子書籍の強化などの新規事業の拡大により増収となりました。

以上により、「モバイルサービス」の売上高は、前年同期（714百万円）比4.4%増の745百万円となりました。セグメント利益では、人材強化に伴う固定費の増加を増収でカバーするに至らず、前年同期（108百万円）と比べ28百万円減少し、80百万円の利益となりました。

⑥その他

その他セグメントにつきましては、理工系専門書の販売は減少いたしました。第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めました株式会社クリエイターズギルドにおいてシステム開発等の受託等が堅調に推移し、売上高は前年同期（168百万円）比53.2%増の257百万円となりました。セグメント利益では、理工系専門書の収益性の低下により、前年同期（9百万円）と比べ1百万円利益が減少し、7百万円の利益となりました。

⑦全社

全社区分につきましては、純粋持株会社である当社と、グループの経営管理及び販売／物流管理機能を担う㈱Impress Professional Worksで構成されており、グループ会社からの配当、情報システム等の経営インフラの使用料及びグループ会社や出版社を中心とするパートナー会社の物流・販売管理に伴う手数料収入を売上高として計上し、経営インフラ等の運営に係る費用を負担しております。

全社区分の売上高は、グループ会社からの配当収入の増加等により、前年同期（625百万円）比10.2%増の689百万円となりました。全社セグメントは、増収により、前年同期（76百万円の損失）から67百万円改善し、8百万円の損失となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、季節変動要因による受取手形及び売掛金、商品及び製品、仕掛品の増加等により、前連結会計年度末に比べ723百万円増加し12,011百万円となりました。負債につきましては、季節変動要因による仕入債務の増加に加え、有利子負債の増加等により、472百万円増加し4,864百万円となりました。純資産につきましては、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により、251百万円増加し7,146百万円となりました。

純資産から新株予約権及び非支配株主持分を引いた自己資本は7,124百万円となり、自己資本比率は59.3%と前連結会計年度末（61.0%）と比べ1.6ポイントの減少となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況につきましては、季節変動要因によるたな卸資産や売上債権の増加等があったものの、仕入債務の増加に加えて、親会社株主に帰属する四半期純利益や非資金項目である減価償却費の計上等により、営業活動で50百万円の資金を獲得しました。投資活動では、満期保有目的債券や固定資産の取得等により、129百万円の資金が減少しております。また、財務活動においては、有利子負債の増加により、109百万円の資金を獲得しております。

以上により、当第2四半期連結累計期間において31百万円の資金を獲得し、当第2四半期連結会計期間末の資金残高は、3,825百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間における経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、既刊書籍の販売やコンテンツホルダーとの協業によるデジタルコミック等の販売プラットフォーム事業の好調な推移に加え、貸倒引当金戻入益の計上等により、以下に記載した通り当初の予想を上回り、第2四半期連結累計期間の連結業績予想につきましても修正を行っております。

なお、通期連結業績予想につきましては、メディア事業においてカレンダーや年賀状ムック等大型季節商品の返品及び書籍等の出版販売や広告収入等の下振れリスクが懸念される事から、公表済みの業績予想に変更はありません。

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
平成29年5月12日発表 予想 (A)	5,700	100	60	1.80円
平成29年11月9日発表 実績 (B)	5,782	221	173	5.19円
増減額 (B-A)	82	121	113	—

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,794,055	3,825,150
受取手形及び売掛金	3,532,602	3,737,595
有価証券	600,000	700,000
商品及び製品	1,048,095	1,117,788
仕掛品	94,609	303,641
繰延税金資産	122,443	122,443
その他	237,100	360,805
返品債権特別勘定	△17,900	△24,700
貸倒引当金	△49,209	△70,910
流動資産合計	9,361,797	10,071,814
固定資産		
有形固定資産	466,695	456,478
無形固定資産		
ソフトウェア	219,834	196,601
その他	14,154	14,445
無形固定資産合計	233,989	211,047
投資その他の資産		
投資有価証券	720,811	760,051
破産更生債権等	133,681	110,237
繰延税金資産	55,360	59,708
その他	432,512	435,693
貸倒引当金	△117,024	△93,579
投資その他の資産合計	1,225,341	1,272,110
固定資産合計	1,926,025	1,939,636
資産合計	11,287,823	12,011,451

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,247,595	1,494,584
短期借入金	560,000	500,000
1年内返済予定の長期借入金	232,200	281,924
未払法人税等	20,150	60,039
賞与引当金	105,694	112,928
返品調整引当金	145,046	164,554
その他	870,715	905,736
流動負債合計	3,181,402	3,519,765
固定負債		
長期借入金	119,988	260,860
繰延税金負債	42,964	55,018
退職給付に係る負債	1,044,337	1,025,835
その他	3,481	3,143
固定負債合計	1,210,771	1,344,857
負債合計	4,392,173	4,864,622
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,341,021	5,341,021
資本剰余金	1,664,508	1,664,508
利益剰余金	595,130	748,266
自己株式	△722,575	△722,966
株主資本合計	6,878,084	7,030,830
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	97,526	124,729
為替換算調整勘定	51,432	50,925
退職給付に係る調整累計額	△146,097	△81,761
その他の包括利益累計額合計	2,860	93,893
新株予約権	14,704	14,704
非支配株主持分	—	7,399
純資産合計	6,895,650	7,146,828
負債純資産合計	11,287,823	12,011,451

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	5,667,219	5,782,953
売上原価	3,579,978	3,525,214
売上総利益	2,087,241	2,257,738
返品調整引当金繰入額	7,477	26,308
差引売上総利益	2,079,764	2,231,430
販売費及び一般管理費	1,945,867	2,061,054
営業利益	133,896	170,376
営業外収益		
受取利息	2,365	1,520
受取配当金	1,291	579
持分法による投資利益	29,434	32,300
貸倒引当金戻入額	—	19,849
その他	2,680	8,021
営業外収益合計	35,771	62,271
営業外費用		
支払利息	5,141	4,150
出資金運用損	437	4,036
その他	2,044	2,650
営業外費用合計	7,623	10,837
経常利益	162,045	221,811
特別利益		
投資有価証券売却益	—	6,496
新株予約権戻入益	2,135	—
特別利益合計	2,135	6,496
特別損失		
投資有価証券評価損	1,399	—
特別損失合計	1,399	—
税金等調整前四半期純利益	162,780	228,307
法人税、住民税及び事業税	50,038	53,090
法人税等調整額	3,270	—
法人税等合計	53,309	53,090
四半期純利益	109,471	175,217
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	2,062
親会社株主に帰属する四半期純利益	109,471	173,154

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益	109,471	175,217
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△17,193	27,202
為替換算調整勘定	△20,838	△506
退職給付に係る調整額	14,052	64,336
その他の包括利益合計	△23,980	91,033
四半期包括利益	85,491	266,250
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	85,491	264,187
非支配株主に係る四半期包括利益	—	2,062

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	162,780	228,307
減価償却費	71,163	78,956
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	29,520	△21,611
退職給付に係る調整額の増減額 (△は減少)	14,052	59,989
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△20,252	2,627
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	777	19,508
返品債権特別勘定の増減額 (△は減少)	6,700	6,800
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	33,072	△1,742
破産更生債権等の増減額 (△は増加)	9,845	23,444
受取利息及び受取配当金	△3,657	△2,099
支払利息	5,141	4,150
持分法による投資損益 (△は益)	△29,434	△32,300
為替差損益 (△は益)	△1,095	△241
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△6,496
投資有価証券評価損益 (△は益)	1,399	—
新株予約権戻入益	△2,135	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△49,119	△132,727
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△232,376	△276,426
仕入債務の増減額 (△は減少)	21,360	97,926
その他	△42,498	729
小計	△24,755	48,792
利息及び配当金の受取額	15,111	19,547
利息の支払額	△4,985	△3,370
法人税等の還付額	31,266	27,299
法人税等の支払額	△51,171	△41,413
営業活動によるキャッシュ・フロー	△34,534	50,854
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	—	△100,000
有価証券の償還による収入	200,000	—
有形固定資産の取得による支出	△52,218	△26,083
無形固定資産の取得による支出	△35,504	△23,630
投資有価証券の取得による支出	△300,314	△299
投資有価証券の売却による収入	1,120	12,250
関係会社株式の取得による支出	△134,000	—
敷金及び保証金の差入による支出	△493	△8,864
敷金及び保証金の回収による収入	454	663
貸付けによる支出	△5,000	△32,000
貸付金の回収による収入	328	4,867
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	43,385
その他	63	342
投資活動によるキャッシュ・フロー	△325,565	△129,368

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	△60,000
長期借入れによる収入	—	300,000
長期借入金の返済による支出	△125,672	△109,404
社債の償還による支出	△40,000	—
自己株式の取得による支出	△282	△390
配当金の支払額	△33,188	△20,027
その他	△331	△338
財務活動によるキャッシュ・フロー	△199,475	109,838
現金及び現金同等物に係る換算差額	△11,846	△229
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△571,421	31,094
現金及び現金同等物の期首残高	4,485,249	3,794,055
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,913,827	3,825,150

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自平成28年4月1日 至平成28年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	調整額 (注) 3	四半期連結財 務諸表 計上額 (注) 2
	I T	音楽	デザイン	山岳・自然	モバイル サービス	計			
売上高	2,476,335	860,815	402,004	1,086,118	714,147	5,539,422	168,238	(40,441)	5,667,219
セグメント利益又はセグメント損失	14,863	(11,366)	29,459	119,461	108,823	261,240	9,033	(136,377)	133,896

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、出版、電子出版及びその他出版事業が含まれております

2. セグメント利益又はセグメント損失は、調整を行い、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益又はセグメント損失の調整額△136,377千円には、セグメント間の内部売上高の取引消去△40,441千円、各報告セグメントに配賦していない全社費用△700,392千円、セグメント間の営業費用の取引消去604,457千円が含まれております。

当第2四半期連結累計期間（自平成29年4月1日 至平成29年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	調整額 (注) 3	四半期連結財 務諸表 計上額 (注) 2
	I T	音楽	デザイン	山岳・自然	モバイル サービス	計			
売上高	2,426,379	886,421	510,492	1,023,853	745,225	5,592,371	257,788	(67,206)	5,782,953
セグメント利益又はセグメント損失	58,609	(42,556)	73,426	124,504	80,760	294,745	7,979	(132,348)	170,376

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、出版、電子出版及びその他出版事業が含まれております

2. セグメント利益又はセグメント損失は、調整を行い、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益又はセグメント損失の調整額△132,348千円には、セグメント間の内部売上高の取引消去△67,206千円、各報告セグメントに配賦していない全社費用△688,501千円、セグメント間の営業費用の取引消去623,359千円が含まれております。